

GLORY

GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

P.1

社会の変化に向き合うグローリーへ
『2020中期経営計画』の達成に向け
全力で取り組んでまいります

GLORY NOW | 海外 新製品トピックス

P.5

流通店舗向け現金管理システム
「CASHINFINITY™」のラインナップ拡充
小型卓上モデルの販売をスタート

P.6

会社情報

P.7

株主メモ

第**73**期
報告書

2018年4月1日から
2019年3月31日まで

グローリー株式会社



社会の変化に向き合う
グローリーへ
『2020中期経営計画』の
達成に向け全力で
取り組んでまいります

代表取締役社長

三和 元純

就任のご挨拶

このたび、代表取締役社長に就任いたしました三和元純でございます。

グローリーは、「世の中の役に立つものをつくり続ける」という創業時から受け継ぐ精神で、国内外の金融機関や流通店舗に向け、業務の効率化・厳正化に役

立つ製品を数多く送り出してまいりました。2018年3月に創業100周年を迎え、次の100年へ向かう最初のかじ取りを担う重責に身の引き締まる思いがしております。

さて、当社を取り巻く市場環境は今まさに変化の中にあります。国内外を問わず、金融機関においては店舗の統廃合が進

み、流通店舗ではテクノロジーの進化によるキャッシュレス決済の拡大が予想されます。このような変化に真摯に向き合い2018年に策定した『長期ビジョン2028』“人と社会の「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ”の実現を目指し、まずは『2020中期経営計画』の達成に向け全力で取り組んでまいります。

新事業の創出に注力

当社は、基盤事業である通貨処理機事業の深化に加え、新たな事業の創出に力を入れております。その取組みの1つに「多様な決済手段の提供」があります。決済手段の多様化が進行するなか、現金決済に加えキャッシュレス決済にも対応し、利用者が使いたい手段でスムーズに決済できる環境を構築することが重要であるとと考えております。

グローリーの強みは、これまで培ってきた認識・識別技術やメカトロ技術と、国内外の金融機関やさまざまな流通業界のお客さまとの間で築いてきた強固な信頼関係にあります。今後は、これらの強みを活かし、利用者が快適でワクワク感を感じられるような決済手段を開発し、早期に事業として確立していきたいと考えております。

自由闊達な企業風土へ

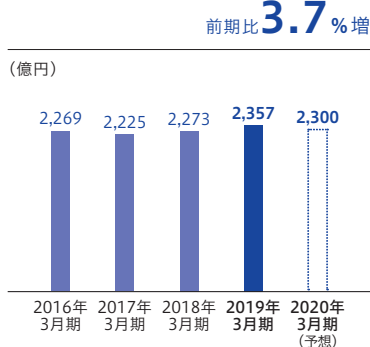
会社の成長には、それを支える人づくりが最も重要であると考えております。社員が自由に議論を交わし業務に取り組むことで、スピードを伴った高いパフォーマンスを発揮できるようになります。当期は、新事業の芽を育てるビジネスイノベーションセンターの設立など、ビジネスの拡大に向けた組織変更を実施いたしました。ハードウェアである組織を最大限に

活かせるよう、ソフトウェアである“人をつくる”ということも私の重要な使命であると認識しております。社員にさまざまな

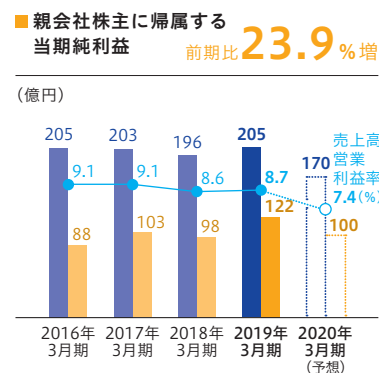
経験ができる環境を提供することで、社員が自ら考え自ら行動する、自由闊達な企業風土を醸成したいと考えております。

財務ハイライト

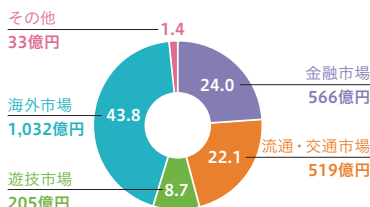
売上高



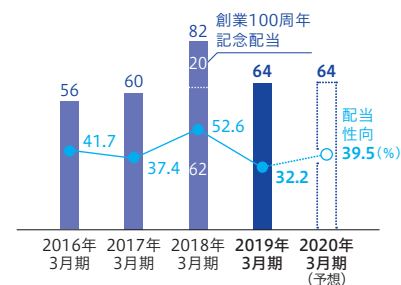
営業利益



2019年3月期 セグメント別売上高及び構成比 (%)



1株当たり配当金 (円)



『2020中期経営計画』の進捗

初年度の施策は計画通り実行

当社は、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の初年度として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」の3つの基本方針に基づき、事業展開してまいりました。“長期ビジョンの実現に向けた仕込み”と位置づける本計画に対し、2019年3月期は、おおむね計画通りのステップを踏むことができました。

主な実績として、海外市場では、市場の特性に応じた地域別戦略を推進し、各国で金融市場向け「紙幣入出金機」の更新需要の獲得や流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」の販売拡大に注力いたしました。また、イタリアにおける販売・保守網の強化を目的に、現地企業の買収を実施

いたしました。

国内市場では、金融市場において、主要製品である「オープン出納システム」や窓口用「紙幣硬貨入出金機」の更新需要の獲得に注力し、流通市場においては、コンビニエンスストア向けを始めとする「レジつり銭機」の販売拡大に取り組んでまいりました。

また、新事業においては、音声認識技術を有する株式会社フュートレックとの資本業務提携を実施するなど、新たなソリューションの創出に向けた取組みも推進してまいりました。

次期の連結業績及び重点施策

次期の連結業績につきましては、海外市場において増収増益を見込むものの、金融市場及び流通・交通市場では大口需要の反動による減少を予想しております。このような状況のなか、次期の重点施策につきましては、海外事業では、金融機関



において、欧米を中心にセルフオペレーション化の加速が見られるため、引き続き、「紙幣入出金機」等の販売を推進してまいります。また、流通市場においては、米国等における販売体制をより強化し、世界的な大手小売事業者をターゲットに「紙幣硬貨入出金機」等の販売拡大を図ってまいります。

国内事業では、金融機関の“次世代店舗”の導入・拡大に向けた動きが見られるため、非現金分野製品を含め、ニーズに合致した製品やソリューションを提案し、販売拡大を図ってまいります。また、流通市場においては、「レジつり銭機」の導入の裾野が拡大しており、新たな業態・顧客の開拓にも注力してまいります。新事業では、株式会社フュートレックとの相互の技術・ノウハウの融合等による個体認証技術の早期事業化等に取り組む

『2020中期経営計画』連結業績目標

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	2021年3月期 目標
売上高	2,357億円	2,300億円	2,600億円
営業利益	205億円	170億円	250億円
営業利益率	8.7%	7.4%	9.6%
ROE	6.5%	5.4%	8.0%

2020年3月期の主な施策

方針1 既存事業 持続可能な事業運営の基盤づくり	
項目	概要
海外事業 セルフオペレーション化による 金融事業の再成長と流通事業のさらなる加速	金融 ▪ セルフオペレーション型製品の販売促進 流通 ▪ 製品ラインナップを拡充し導入先を拡大
	金融 ▪ “次世代店舗”の提案強化と販売拡大 流通 ▪ 新たな業態・顧客の開拓による「レジつり銭機」市場の裾野拡大 遊技 ▪ ホール運営の効率化に向けたシステムとサービスの提案強化
方針2 新事業 社会課題解決に向けた協働の取組み強化	
項目	概要
新事業ドメインの推進	個体認証事業の確立 ▪ 個体認証技術を用いた決済等の実用化へに向けた実証実験の開始 自動化社会の推進 ▪ ロボットSI事業の開発・販売体制を強化
方針3 経営基盤 成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化	
項目	概要
オープンイノベーション実現のための組織風土改革	▪ 事業の成長を支える人材の獲得と育成に向けた施策の具現化

とともに、さらなる事業領域の拡大に向け、戦略投資も継続実施してまいります。以上の重点施策を確実に実行することで、次期の連結業績目標の達成と、『2020中期経営計画』の達成につながってまいります。なお、2021年及び2024年に予定されている新硬貨及び新紙幣の発行につきまして、通貨処理機の提供を通じて社会インフラの一翼を担う企業として、万全の対応を行ってまいります。

株主のみなさまへ

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標に配当を実施することとしております。この方針に基づき、期末の配当につきましては、1株あたり33円とさせていただきます、中間配当金31円を加えた年

間配当金は64円となりました。次期の配当につきましては、1株につき64円(中間配当金32円、期末配当金32円)とさせていただきます。予定です。

当社は新たな経営体制のもと、持続的な企業価値の向上を通じ、みなさまへの責任を果たしてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

流通店舗向け現金管理システム 「CASHINFINITY™」のラインナップ拡充 小型卓上モデルの販売をスタート

世界中の流通店舗でご愛用いただいている「CASHINFINITY」。

このたび、レジつり銭機の小型卓上モデル<CI-5>の販売を開始しました。

既存のスタンダードモデル<CI-10>と同等の機能を備えたまま、製品サイズは約半分。

今までレジつり銭機を設置できなかった店舗でも導入が可能となりました。

店舗の規模やスタイルに合わせて自由にお選びいただける「CASHINFINITY」は、

今後ますます活躍の場を広げます。

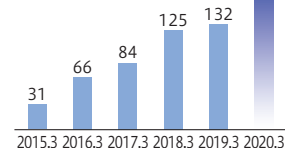
「CASHINFINITY™」とは



CASHINFINITY
GLORY Retail Solution

店員が現金に触れることなく、レジでの現金受け渡しやバックオフィスでの売上金精算等を行うことができるシステム

売上高
(億円)



「CASHINFINITY」>>>
主なラインナップ

NEW



レジつり銭機
CI-5

小型卓上モデル。限られた設置スペースでもレジ作業を機械化。

*ユーロ、米ドル仕様限定



レジつり銭機
CI-10

スタンダードモデル



紙幣硬貨入出金機
CI-100

バックオフィスで店舗内の売上金の精算を行う。



現金管理ソフトウェア
CI-Server

レジやバックオフィスの現金量をリアルタイムで把握。店舗内現金の最適な運用が可能。

利用シーン 小型の飲食店や専門店で

利用シーン 複数のレジを設置する大型のスーパーマーケットや飲食店で



イタリアのカフェチェーン店 My Chef

CI-5 Case Study from Italy



Sitrade Italia S.p.A.
「CASHINFINITY」プロダクトマネジャー
Antonio Gaeta (アントニオ ガエータ)

イタリアでは、バーやタバコ店、カフェのような小さな店舗が数多くあります。レジつり銭機<CI-5>を導入いただいた「My Chef」では、セルフ運用をすることで、衛生的に効率よく精算ができるようになったと大変好評です。これからも市場のニーズの高まりに応え、さまざまな店舗に「CASHINFINITY」を用いたソリューションを提案してまいります。

CASHINFINITYはグローリー株式会社の登録商標(日本、欧州、米国 他において)です。

会社情報 (2019年3月31日現在)

会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	https://www.glory.co.jp
従業員数	3,447名(連結 9,217名)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079-297-3131(代表)
事業所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 姫路物流センター (兵庫県姫路市) 支店等 9支店、39営業所、31出張所、 3サービスセンター
グループ会社	56社(うち海外42社)

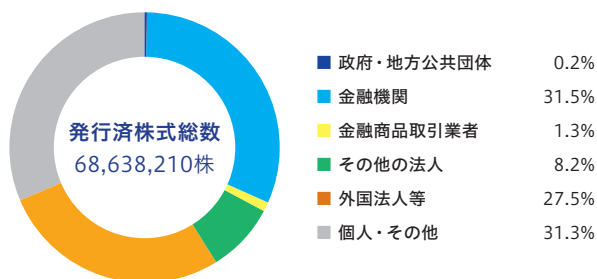
役員一覧 (2019年6月21日現在)

取締役	代表取締役会長	尾上 広和
	代表取締役社長	三和 元純
	取締役	尾上 英雄
		馬淵 成俊
		小谷 要
		原田 明浩
社外取締役	井城 譲治	
	内田 純司	
監査役	常勤監査役	長島 正和
		藤田 亨
	社外監査役	濱田 聡
		加藤 恵一

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 7,865,917株を含む)
株主数	9,211名(前期比 2,825名増)

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,739	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,227	3.2
グローリーグループ社員持株会	2,190	3.2
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,433	2.1
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	1,261	1.8
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,123	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,091	1.6

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式7,865,917株があります。

株主のみなさまの声を聞かせてください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせていただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

● アンケートのご回答期限：2019年7月31日

ご回答いただいた方にはもれなく「当社オリジナル 今治タオルハンカチ」を進呈させていただきます。

※4色のうち1色が届きます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は3分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6457

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)

アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます



QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

TEL: 03-6779-9487(平日 10:00-17:30)

MAIL: info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日
	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 [公告掲載URL] https://www.glory.co.jp
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(各種お問合せ先／郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。